

動薬協会発 19 号

平成24年1月17日

社団法人日本動物用医薬品協会
会 員 各 位

社団法人 日本動物用医薬品協会
理事長 岡本 雄平
(公印省略)

台湾における低病原性鳥インフルエンザの新たな発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

当協会の業務運営につきましては、日頃からご支援、ご協力を頂きお礼申し上げます。
さて、標記のことについて、農林水産省消費・安全局動物衛生課長より通知がありましたのでお知らせします。



23消安第5086号
平成24年1月12日

社団法人 日本動物用医薬品協会理事長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

台湾における低病原性鳥インフルエンザの新たな発生に伴う畜産関係者等への
指導の徹底について

このことについて、別添のとおり各都道府県畜産主務部長宛てに通知しましたので、御
了知の上、円滑な防疫対策の実施につき御協力方お願いいたします。



写

23消安第5086号

平成24年1月12日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

台湾における低病原性鳥インフルエンザの新たな発生に伴う畜産関係者等
への指導の徹底について

台湾における低病原性鳥インフルエンザの発生については、先般、「台湾における低病原性鳥インフルエンザの発生について」（平成23年11月18日付け23消安第4324号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）によりお知らせし、改めて「高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の強化について」（平成23年9月12日付け23消安第3135号農林水産省消費・安全局長通知）に基づく畜産関係者等への指導の徹底をお願いしたほか、これまでも当省ホームページ等において本病の発生状況等をお知らせしてきたところです。

今般、台湾において、今月6日に採卵鶏における低病原性鳥インフルエンザ（H5N2亜型）の発生が確認された旨、国際獣疫事務局（OIE）に報告がありました。その詳細及び発生状況は別添のとおりです。

また、最近、香港、インド、ブータン等のアジア諸国においても高病原性鳥インフルエンザが発生しております。つきましては、別添の海外における鳥インフルエンザの発生状況地図を適宜御活用の上、引き続き、本病に関する畜産関係者等への指導の徹底をお願いいたします。

なお、海外における鳥インフルエンザの発生状況等の必要な情報については、当省ホームページ等を通じて積極的に公表してまいりますので、御活用いただきますようお願いいたします。

<農林水産省ホームページ：鳥インフルエンザに関する情報>

URL：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

【OIE情報1/10】台湾における低病原性鳥インフルエンザ (H5N2) の発生

2012年1月11日

動物衛生課

台湾における低病原性鳥インフルエンザ (H5N2) について、OIEへ報告 (2012/1/10) がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEホームページ

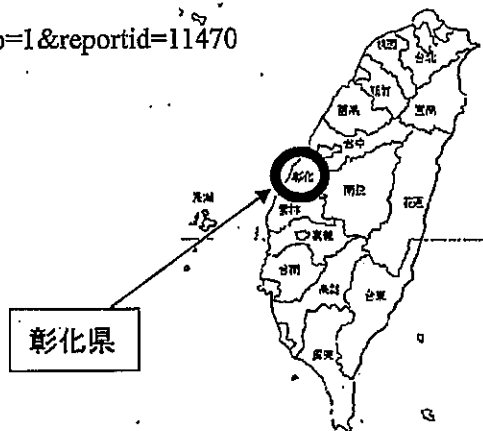
http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=11470

【概要】

- ・発生数：1件 (緊急通報)
- ・発生日：2011年11月25日
- ・確定日：2012年1月6日
- ・血清型：H5N2

【発生状況】

- ・発生地：彰化県
- ・症例報告を受けて臨床検査並びに疫学調査を実施したところ、当該農場からH5N2の抗体と抗原を検出。当該農場における移動制限、臨床検査、疫学調査実施した結果、健康・致死率・産卵率に異常は認められなかった。また、周辺農場における臨床検査・疫学調査の結果、AIを疑う症状や異常な致死率を示す農場は確認されていない。



【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん(産卵鶏)	63000	200	200	0	0

【診断】

- ・診断施設：Animal Health Research Institute (国立研究所)

【対象】	【検査】	【検査結果】	【診断確定日】
家きん	遺伝子シーケンス	陽性	2012/1/9
家きん	赤血球凝集抑制試験 (HIT)	陽性	2012/1/6
家きん	RT-PCR	陽性	2012/1/9
家きん	ウイルス分離	陽性	2012/1/10

【感染源】

不明または調査中

【現地当局の対応】

- ・隔離、国内における移動制限、スクリーニング、ゾーニング、施設等の消毒
- ・ワクチン接種禁止、患畜を治療対象としない

高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2010年以降)

高病原性発生地域 =
 低病原性発生地域 =

※1 ()は病原性
 ※2 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記

《ヨーロッパ》

英国	H5(低)	感染確認日: 2010. 7.28
ノース・ヨークシャー州		感染確認日: 2010. 5.18
ノッティンガムシャー州		感染確認日: 2010. 6.11
ロシア	H5N1(高)	感染確認日: 2009.10.28
イタリア	H7N3(低)	感染確認日: 2010上半年
	H5N2(低)	感染確認日: 2010上半年
	その他(低)	感染確認日: 2010上半年
ルーマニア	H5N3(低)	感染確認日: 2010.11.10
	H5N1(高)	感染確認日: 2010. 3.15
オランダ	H7N7(低)	感染確認日: 2011. 6.24
	H7N7(低)	感染確認日: 2011. 5.12
	H7N1(低)	感染確認日: 2011. 3.22
	H7(低)	感染確認日: 2010. 5.16
ドイツ	H7N7(低)	感染確認日: 2011. 5.27
	H5N2(低)	感染確認日: 2010.11.11
フランス	H5N3(低)	感染確認日: 2009.11.13
デンマーク	H7N1(低)	感染確認日: 2010. 3. 9
スペイン	H7N7(高)	感染確認日: 2009.10.11
ブルガリア	H5N1(高)	感染確認日: 2010. 4. 1

《東アジア》

中国	H5N1(高)	感染確認日: 2011.12.12
	H5N1(高)	感染確認日: 2010. 6. 3
香港	H5N1(高)	感染確認日: 2011.12.20
	H5N1(高)	感染確認日: 2011.12.19
	H5N1(高)	感染確認日: 2011. 1.19
	H5N1(高)	感染確認日: 2010.12.21
	H5N1(高)	感染確認日: 2010. 3.29
台湾	H5N2(低)	感染確認日: 2012.1.6
	H5N2(低)	感染確認日: 2011.11.15
	H7N3(低)	感染確認日: 2011. 4. 7
	H5N2(低)	感染確認日: 2011. 3.21
	H5N2(低)	感染確認日: 2010. 9.29
	H5N2(低)	感染確認日: 2010. 1.21
モンゴル	H5N1(高)	感染確認日: 2011. 4.11
	H5(高)	感染確認日: 2010. 5. 8
韓国	H7N2(低)	感染確認日: 2010.12.16
	H5N1(高)	感染確認日: 2010.12. 7
	H7N6(低)	感染確認日: 2010.11. 3
	H7N7(低)	感染確認日: 2010.10.15
	H7N7(低)	感染確認日: 2010. 5.20

日本
 H5N1(高) 感染確認日: 2010.12.19
 H5N1(高) 感染確認日: 2010.11.29

《アフリカ》

エジプト	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
セーシェル	(低)	感染確認日: 2010上半年
南アフリカ共和国	H5N2(高)	感染確認日: 2011. 2.11
		感染確認日: 2011. 3.16

《南アジア》

インド	H5N1(高)	感染確認日: 2012. 1. 10
		感染確認日: 2011. 9. 7
		感染確認日: 2011. 2.16
		感染確認日: 2010. 1.14
バングラデシュ	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
イラン	H5N1(高)	感染確認日: 2011.9.15
		感染確認日: 2010上半年
ネパール	H5N1(高)	感染確認日: 2011.11.14
		感染確認日: 2010.10.27
		感染確認日: 2010. 1.31
ブータン	H5N1(高)	感染確認日: 2011. 1.8
		感染確認日: 2010. 2.22

《西アジア》

イラク	(低)	感染確認日: 2010上半年
イスラエル	H5N1(高)	感染確認日: 2011. 4.11
		感染確認日: 2011. 3. 7
		感染確認日: 2010. 5. 6
		感染確認日: 2010. 1.26
パレスチナ自治区	H5N1(高)	感染確認日: 2011. 3. 3
	(低)	感染確認日: 2010年2月,7月

《東南アジア》

ベトナム	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
インドネシア	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
ラオス	H5N1(高)	感染確認日: 2010. 5. 6
カンボジア	H5N1(高)	感染確認日: 2011. 7.28
		感染確認日: 2011. 7.19
		感染確認日: 2011. 1.29
		感染確認日: 2010. 1.29
ミャンマー	H5N1(高)	感染確認日: 2011. 1.16
		感染確認日: 2010. 2. 3

《南北アメリカ》

アメリカ		
ノースカロライナ州	H5(低)	感染確認日: 2011.3.21
ミズーリ州	H7N3(低)	感染確認日: 2011.3.25
ネブラスカ州	H7(低)	感染確認日: 2011.4.8
ミネソタ州	H7N9(低)	感染確認日: 2011.6.29
	H7N9(低)	感染確認日: 2011.5.26
カナダ		
マニトバ州	H5N2(低)	感染確認日: 2010.11.23
メキシコ		
コアウイラ州他	H5N2(低)	感染確認日: 2010上半年
ドミニカ共和国	H5N2(低)	感染確認日: 2010上半年
ハイチ共和国	H5N2(低)	感染確認日: 2010下半年
グレナダ	(低)	感染確認日: 2010上半年

2012年1月12日現在

※1 更新点: インドにおける高病原性H5N1の発生、ブータンにおける高病原性H5N1の発生(2012.1.12)
 台湾における低病原性H5N2の発生(2012.1.11)

※2 更新点: 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない(例: 日本は2011年6月25日より清浄性を回復)